

(HP公開様式)

政務活動費の調査研究に係る海外調査、宿泊を伴う県外調査の概要

1 題目：まちづくりに関する政務調査

2 調査報告概要

調査者 会派名等	[会派名、調査者全員の氏名] 会派名 自民党誠心会 調査者 乙黒泰樹 同行者 山梨市議会議員 8名 新翔会：[REDACTED] 公明党：[REDACTED]
調査内容	1 調査目的 日本中の様々な市町村において、まちが活性化するための施策を実践している。今回の調査では、「市民活動助成事業」「小学校跡地利活用」を調査テーマとして設定し、それぞれ先進的な取り組みをしている団体及び地方自治体の行っている各事業等について視察、調査、意見交換を行い、本県の施策に活かしていく。 2 調査テーマ 市民活動助成事業 小学校跡地利活用 3 調査期間 平成30年11月5日～平成30年11月7日 (2泊3日) 4 調査地 [海外→国名・都市名]・[国内→都道府県名・市町村名] 山口県美祢市、山口県萩市 5 その他

3 調査テーマ毎の調査項目と選定理由

<p>[調査テーマ] 市民活動助成事業</p>	<p>[調査項目] コミュニティ助成事業・ふるさと人材育成事業について</p> <p>[選定理由] 市民の活動をサポートすることは、その地域の活性化につながる と考える。地域コミュニティで行われる様々な活動を行政が補助 している先進事例を調査することにより、本県の市民活動をより活 発化するとともに、地域の活性化に効果があると考えこのテーマを 選定した。</p>
<p>[調査テーマ] 小学校跡地利活用</p>	<p>[調査項目] 旧明倫小学校跡地利活用事業について</p> <p>[選定理由] 人口減少による少子化問題は深刻であり、日本各地において使用 しなくなった学校の校舎を再利用するための方策を検討することは 喫緊の課題である。廃校となった学校の跡地を利活用している成功 事例を調査することは重要であると考え選定した。</p>

4 調査項目に係る調査都市・施設・担当者等の選定

調査項目	都市（市町村）名・施設名・担当者名及び選定理由
市民活動助成事業 コミュニティー助成事業 ・ふるさと人材育成事業 について	<p>[都市（市町村）名・施設名・担当者名] 山口県美祢市</p> <p>[選定理由] 美祢市では、市民の活動を積極的に助成することで、まちづくりへの活力とにぎわいの創出に貢献している。地域コミュニティの活動は多岐にわたり、それぞれの事業の在り方や内容を精査しながら適切なサポートをしていくことは重要であり、本県においても地域の活性化に効果があると考え選定した。</p>
小学校跡地利活用 旧明倫小学校跡地利活用事業について	<p>[都市（市町村）名・施設名・担当者名] 山口県萩市 萩明倫学舎</p> <p>[選定理由] 萩市では、使用しなくなった明倫小学校の校舎を再利用し、観光インフォメーションセンターや文化を発信するための展示場として活用している。本県でも廃校となった学校の跡地利活用は大きな課題である点を考慮し、こうした先進事例を学ぶことが重要であると考え選定した。</p>

5 調査内容

○調査テーマ：(市民活動助成事業)

調査項目	コミュニティー助成事業・ふるさと人材育成事業について		
調査都市等	山口県美祢市	調査日	11月6日
調査結果概要	<p>美祢市では、地域住民の活動に対して積極的に助成することにより、地域の活性化とにぎわいの創出に力を入れている。その支援先は多岐にわたり、地域コミュニティーが進める様々な取り組みをサポートすることにより、民間の活力と意識の向上につなげている。</p> <p>●コミュニティー助成事業の種類（予算総額 4,829 千円）</p> <p>①コミュニティー活動設備 整備助成（2,500 千円以内） コミュニティー活動に必要な設備整備に対して</p> <p>②活動拠点整備事業（1,500 千円以内） 区集会施設の新築、改築</p> <p>③地域環境保全美化助成（500 千円以内） 地区清掃、景観美化活動</p> <p>④スポーツレクリエーション活動助成（500 千円以内） スポーツレクリエーション活動による多世代交流事業助成</p> <p>⑤文化、伝統活動助成（500 千円以内） 地域の文化、伝統行事に係る経費</p> <p>⑥ジオパーク活動助成（500 千円以内） 市民活動、秋吉台ジオパーク充実活動助成</p> <p>⑦コミュニティービジネス事業助成（500 千円以内） 地域資源を活かし、地域課題の解決助成</p> <p>●ふるさと人材育成事業</p> <p>市内の中学生、高校生及び勤労者の人材育成と市内の伝統芸能を後継者へ引き継ぎ、地域に根付かせ継承する団体へ助成金を交付する事業。</p> <p>①国際交流事業（500 千円以内） 中学生、高校生並びに勤労者に対して海外派遣研修に係る経費</p> <p>②教養学研、芸術、科学、伝統芸能、工芸、スポーツ振興事業（300 千円以内） 上記を発展させようとする者、グループの技術の習得研鑽に要する経費</p> <p>③市長が特に必要を認めるもの（300 千円以内） 商工、農林事業に従事する者、グループで産業の活性化、必要な新技術、新製品等の研究開発に要する経費</p>		

	助成する活動の種類は項目ごとに分かれているが、全てにおいて市民の熱意や自主性を重んじるかたちとなっており、それぞれの地域を盛り上げていく一助となっている。
--	-------------------------------------------------------------------------------

○調査テーマ：(小学校跡地利活用)

調査項目	旧明倫小学校跡地利活用事業について		
調査都市等	山口県萩市 萩明倫学舎	調査日	11月7日
調査結果概要	<p>かつて萩藩の藩校であった明倫館跡地に建つ旧明倫小学校は、日本最大の木造校舎として知られ、国の有形文化財に登録されている。本館と2号館について耐震補強・設備改修が行われて、歴史や文化を継承しながら、飲食店やお土産屋、貸し館として、萩市の観光拠点として存在している。昔懐かしい学び舎を明治維新の資料館にするとともに、世界遺産のビジターセンターとしての役割とフィルムコミッションとしての役割を併せ持つ複合施設として再利用することにより、現在日本各地で問題となっている廃校舎の利活用に関する素晴らしい取り組みとなっている。</p> <p>●明治150周年記念事業</p> <p>萩・明倫学舎は、明治150周年記念事業の一環として、萩藩明倫館の跡地に建つ日本最大の木造校舎（昭和10年建築）である旧明倫小学校保存整備事業として、平成26年～28年の3年をかけて総事業費14億1千万円で整備された。</p> <p>国の登録有形文化財でもある本館1階は、観光インフォメーションセンター、お土産ショップ、カフェ、レストラン、復元教室、実習室として利用され、2階は萩藩校明倫館展示室、明倫小学校展示室、ジオパークセンター、展示映像室、屋根裏見学室などとして整備され、併設されている二号館は有料施設として幕末ミュージアムと世界遺産ビジターセンターとなっている。</p> <p>運営は地元の歴史、風土、文化に詳しい方々が中心となり、NPO 萩明倫学舎との協働による管理として、市職員を含む約30名によってなされている。来館者は開館した平成29年度で33万8千人、平成30年度も視察時まで15万8千人とのことである。</p> <p>明倫学舎の設置管理条例では、日本の近代化の礎を築き、新時代を牽引した多くの先達が志を立て、切磋琢磨した学び舎は、萩の教育や気風を支えた藩校明倫館を継承し、先人の研鑽と足跡を確かなものとして今日に伝えることを明記しており、新たな時代を担う子どもたちと萩を訪れる人々に連綿と続く維新の物語を伝えている。</p>		

○所感及び調査結果の活用方針

調査テーマ：(市民活動助成事業)

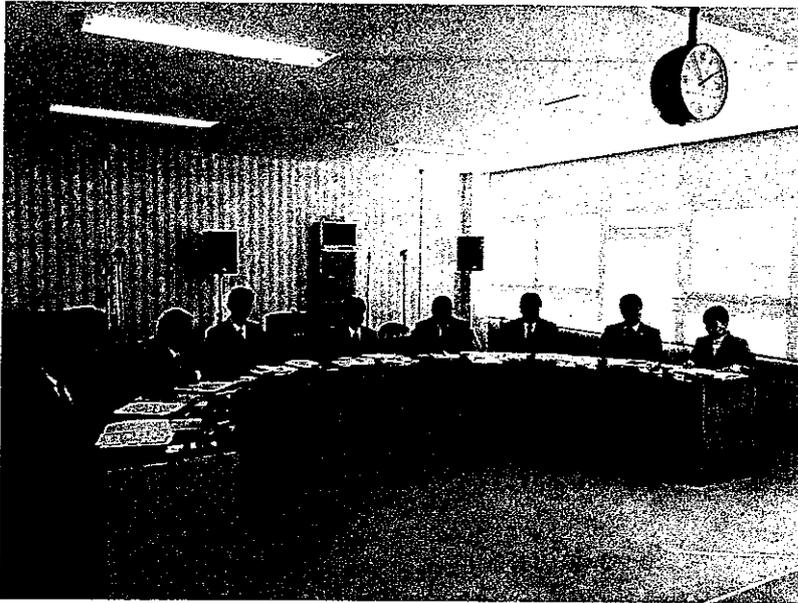
議員氏名	所感及び活用の考え方
乙黒泰樹	<p>美祿市での市民活動助成事業は、多岐にわたる市民の活動を精査しながら、適切なサポートをしていくことで、地域の活力を生み出すとともに、にぎわいの創出に貢献している。助成対象となる事業は様々であり、一つ一つの活動と向き合いながら適切なサポートを続けることが本事業の肝であると感じた。</p> <p>本県においても市民の活動が盛り上がることにより、地域が活性化することが期待できるため、今後の行政で必要な制度等を検討し実施するとともに、にぎわいの創出につながる施策の検討と新たな政策提言へとつなげていく。</p>

調査テーマ：(新規事業支援)

議員氏名	所感及び活用の考え方
乙黒泰樹	<p>萩市での小学校跡地利活用は、全国各地で問題となっている廃校の利活用における先進事例であり、多くの補助金を活用しているが、地域での歴史、文化、観光の促進に大きな役割を担っていると感じた。</p> <p>本県においても人口減少に伴う少子化により多くの学校が合併し、廃校となる学校が増えており、その後の利活用に関する取り組みは喫緊の課題であると考えている。活用の方法は様々であり、個別の状況によって検討すべき問題は山積されているが、既存建物を利活用し積極的な企業誘致を行うことが重要であると感じた。今後はこうした事例を参考とし、本県の問題解決への取り組みや、歴史・文化を育む政策提言へとつなげていく。</p>

6 調査状況 (写真)

○平成30年11月6日 調査先 (山口県美祢市)

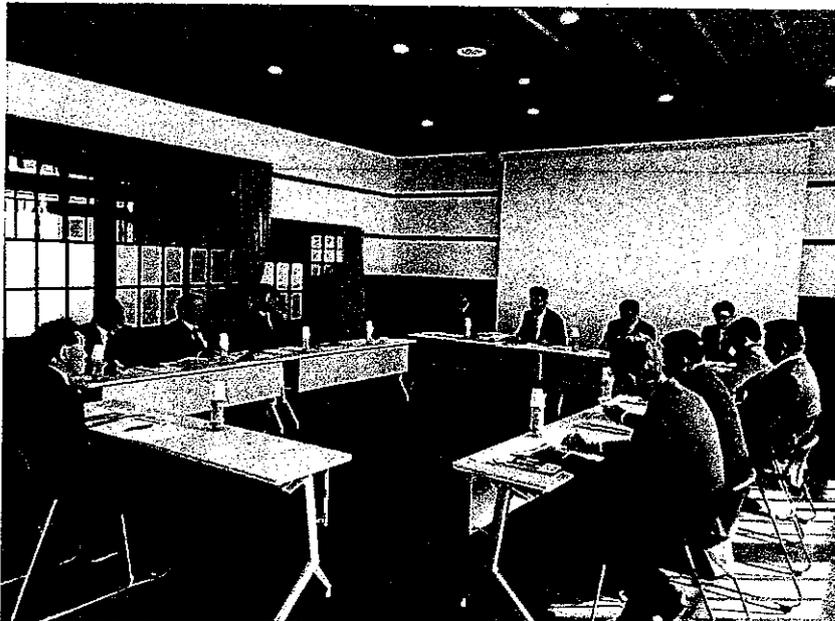


美祢市役所の担当者から事業の詳細を説明して頂きました。多岐にわたる助成事業の一つ一つに市民の皆さんの熱意が感じられ、今後の地域の盛り上がり期待の持てる内容でした。

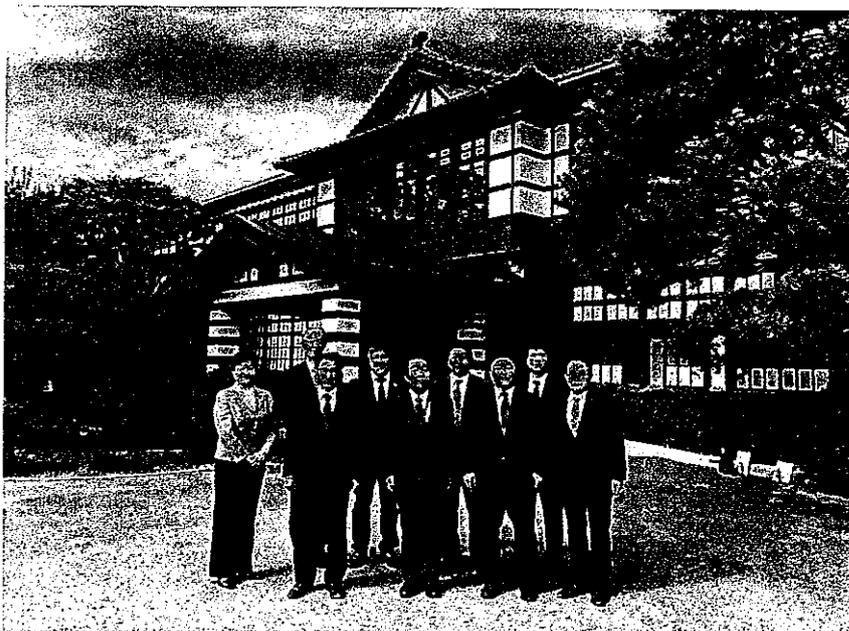


美祢市役所入口で記念撮影を致しました。美祢市と山梨市は青少年育成事業において長く交流が続いており、こうした事業に関わる担当者の皆さんにもお越し頂き、活発な意見交換もすることができました。

○平成30年11月7日 調査先（山口県萩市 萩明倫学舎）



萩・明倫学舎内にある会議室をお借りして、跡地利活用事業の詳細を担当課の皆さんから説明を受けました。様々な資料を用意して頂き、市での取り組みとその成果を細かく知ることができました。



明倫学舎の外で記念撮影を致しました。この校舎は日本最大の木造校舎として知られ、国の有形文化財に登録されています。